

雪がた

— 豊科病院だより —



豊科病院広報誌

令和元年 11月 5日 発行

発行者 豊科病院広報文化委員会

〒399-8205

長野県安曇野市豊科5777-1

Tel:0263-72-8400

URL <http://www.shironishi.or.jp/>

豊科病院の理念

自他を問わず人間を愛し、慈しむ心を礎に、病める人、障害を持つ人、悩める人に常に自分の家族に接するように優しく接し、最良の医療・福祉サービスを提供し、地域の人々の要求及び個別的な要求にも応え、地域で人々が快適に生活できるような支援を行う。

豊科病院のど自慢大会



この期間、会場となった廊下は、手作りの旗がはためき、入り口には恒例の色とりどりの花がちり

たものです。

9月13・14日の2日間に渡って、今年も当院の文化祭が開催されました。この企画は作業療法部と看護部 営繕部で構成されたレクリエーション委員会が中心となり、看護部 事務部 精神科デイケア等、各部署が協力して開催されたものです。

この期間、会場となった廊下は、職員が披露され、加もあり、数々の熱唱が披露され、鐘ならぬ集まった方々の拍手の大きさを、優勝者が決められました。

13日には、各病棟デイケアから予選を勝ち抜いた方々による、のど自慢大会が行われました。



作品展示では、当院に入院されている方々あるいは外来に通院されている方々が、作業療法やデイケアにて、1年かけ

文化祭開催!!

のど自慢大会も盛況



て作った手芸や習字塗り絵絵手紙など、思い思いの作品が展示されました。また、行事やプログラムの紹介に加え、趣味活動を通して長野県代表になった方の紹介など、1年間の活動が報告されました。どれも力作ぞろいでしたが、今年は特に優秀な作品には、豊科病院賞が贈られました。

地域生活への「つわなない」 「二人の「案内人」今年も来院」

精神科病院に入院されている方の中には、入院が長くなり退院することが不安…「本当は退院したいけど言い出せない…」退院はしたいけど何から始めたら良いのかわからない…」といった思いの方々がいらっしゃるのではないのでしょうか。

この当院では、平成23年6月より、松本圏域



ピアサポーターさん(左)と紅林退院支援コーディネーター 当院1階ロビーにて

障害者総合相談支援センターさんに病棟に入っていたとき、同センターさんと協同で、そのような思いを持たれている患者さんの退院支援を企画、実施しております。平成28年度からは、当院の作業療法部と協同のプログラムを年5回実施し、ピアサポーターの方にも来院していただき、退院についての学習や活動を行っています。

す。

今年も昨年に引き続き、同センターの退院支援「デーネーター」の紅林奈美夫さんが来院。数回に渡り、入院患者さんを対象に、個別の面談を行ったり、入院までの流れや、地域生活の説明をしていただきました。10月21日には、ピアサポーターの方と紅林さんが一緒に来院され、ピアサポーターの方から、入院を経て地域生活へ至るまでの体験を語っていただきました。今回その体験を聴講された患者の皆さんは、地域生活のイメージを深められたようです。

この一連のプログラムは、入院患者さんに地域生活を徐々にイメージしていただく試みです。当院では入院患者さんの高齢化が否めませんが、このプログラムを通じて地域に関心を持たれ、一人でも多くの方が退院に結び付くことができれば良いと思います。

五味瀧病院長のつらやき



松本山雅は、「Jでこれまで頑張ってきたけど、セルジー」選手が、内側側副じん帯を損傷してしまったから、「J」残留は厳しいわ…。

ラグビーのワールドカップは、専用のラグビー

場ではなく、サッカー場を使ってやったのに、観客がいっぱい入って、素敵ですね。

日本は、フオワードとオフロードパスがうまく決まってる、ベスト8までいけて良かったね。

決勝は、フオワードの体力勝負になると思うけど、南アフリカのNo.9をおさえて、インブランドが勝つような気がする。(10月31日現在)

かき氷会 & スイーツ会



8月に各

病棟にて「かき氷会」を行いました。これは看護部や食事療養部な



どの部署が協力し、毎年行っている作業療法部のプログラムの一つです。病院の中は年中気温の変化が少なく、当院は長期入院の患者さんもうらっしゃるため、季節感を養うことが主な目的といえます。

いちご、メロン、ブルーハワイなどのシロップの



他、アイスクリームやあんこなどのトッピングが用意され、患者さんはお好きな味を選ぶことができ、通常の食事では提供されない食感を堪能されていました。たった2ヶ月前のこの会ですが、秋真つただ中の今となつては、かき氷がなにか懐かしく思います。

また9月下旬には、2階の病棟にて「スイーツ会」が行われ、季節のスイーツを患者さんを選んでいただきました。皆さん表情良く召し上がったいただき、中には、全種類召し上がる方もいらっしゃいました。

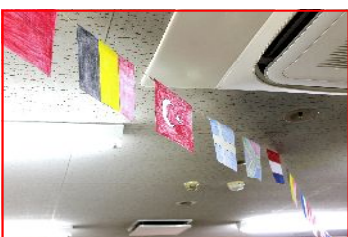
当日は普段と雰囲気を変えるためにBGMと各テーブルに生花を飾り、職員も店員をイメージした服装で盛り上げました。初めての試みでしたが各部署の協力もあり、美味しく、楽しい一時



となりました。

今回はクリスマス会を予定しております。

病棟で運動会



作業療法部のプログラムの一つとして、毎年体育館にて運動会を行っています。しかし、患者さんの高齢化に伴い、看護部より病棟で開催してみてもどうか?という提案があり、一つの病棟のみ、10月11日に病棟内で初めて運動会を開催しました。院内で開催することにより、多くの患者さんが参加され、また看護部職員なども一緒に参加することができました。

病棟内は運動会の装飾がされ、玉入れ、大玉送り、綱引き、応援合戦、紐繫ぎ、などの競技が行われました。種目の全てが作業療法士がレクリエーションをアレンジした、オリジナルのスタイルです。勝敗にこだわる患者さんや、作業療法士の勝敗のジャッジに異議をおっしゃる患者さんもうらっしゃって、会場は大きな笑いと

笑顔に包まれました。
 日頃は、院内で運動する機会が少ない患者さんですが、身体を動かすとともに勝利を目指すことで、心身ともに大きな刺激になったと思います。また、車椅子の方が玉入れが非常に上手だったり、職員が患者さんの知らない一面を把握することもでき、患者さんだけでなくスタッフ側にもメリットのあるプログラムになったと思います。



外来 医師担当表

令和元年11月 1日現在

曜日	月	火	水	木	金	土
内科	いわき たけひこ 岩浅 武彦 医師	休 診	休 診	しみず ともこ 清水 智子 医師	休 診	休 診
精神科 ①	なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	にしざと よしあき 西里 吉昭 医師	ごみぶち みつり 五味洸 満徳 医師	おかざき たかし 岡崎 隆司 医師	なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	ごみぶち みつり 五味洸 満徳 医師
精神科 ②	いわもと よしき 岩本 芳樹 医師	いわもと よしき 岩本 芳樹 医師				

◎ 受付時間 午前 7:00～正午

◎ 診療時間 午前 9:00～終了まで ※木曜日の精神科は、午前9:30～診療開始

※ 午後は全科休診となります。

※ 日曜・祝日は全科休診となります。

※ご不明な点等は、受付へご確認下さい。
 お問い合わせ先 電話 0263-72-8400

～ 編集後記 ～

南アフリカの優勝で幕を閉じたラグビーワールドカップ(以下W杯)日本大会。日本代表も、W杯初となる決勝リーグ進出を果たしたことで注目を浴び、かつてないほどの盛況のうちに閉幕しました。「ルールはよく知らないけれど、観ているうちに熱中していた」という方も結構いたようですが皆さんはご覧になりましたでしょうか。

試合中には激しく体と体をぶつけ合いながらも、試合が終わるとお互いに検討をたたえあう姿も観ていて感動を覚える光景です。ラグビーファンとしては、この盛り上がりが次回のW杯フランス大会にもつながって欲しいと願っています。

※表題「雪がた」について

春から夏にかけて北アルプスでは様々な雪形が見られ、当院からは常念岳の常念坊や、蝶ヶ岳の蝶などの雪形を正面に望むことができます。雪形が季節の変化に合わせて融けるように、患者様の病も融ける・・・表題にはそんな願いが込められています。また、表題の写真は当院屋上から撮影しました。